

揖保川

杉原武弘

新幹線下流右岸のテトラが今まで実績のある釣り場であるが、下流部左岸、余部の堰から上流へ200mの林田川との合流点までがあまり知られていないが魚影が濃く、型も良い釣り場である。堰から100mの間はテトラがあり、2m以上の深場であるが、これより上流部は1m前後の浅場であるが、どちらもヘラブナの寄り場で、33cmと37cmが主体で最長41cmまで釣れる。ヘラブナは重量感があり、美形で引きも強い。

モジリの多いところで、日によって上流か下流かに移動するが、ヘラブナのモジリが寄り場の目安。深場は中央部にテトラがあり、竿出しが出来ないので、堰堤付近とテトラの上流部50mが深場のポイント。これより上流は1m前後の浅場であるが、所々に藻があり（年により増減する）、藻際が狙い所。

残念ながら周辺には1〜2台駐車可能な所が数ヶ所あるだけで、駐車スペースが少ないため多人数の入川は出来ない。

山陽本線しも手右岸は従来から釣り人が入るが、余部の堰に比べると少し型が小さくなるが、40cm級の実績もあり、魚影が濃く釣果も安定している。

この他ヘラブナの生息していそうなポイントはあちこちにあるが、環境は厳しく、駐車スペースも少ないため、実績が少なく、未開の釣り場である。



テトラかみ手、強烈な引きに立ち上がって取り込む



39.5cm、
引きは抜群に強かった



36cmの標準型、重量感のあるヘラブナ

釣行記



松下英樹

姫路市に住んでいる私ですが、揖保川でこんな釣りが出来るとは知りませんでした。

先輩達に誘われて揖保川の余部の堰にきたのは6月の末、左岸の藻が所々に生えている1m程の浅場で、それぞれ藻の際を狙って16尺〜21尺を出しました。

モジリが岸際でもあり、ときどきコイに混じって数匹ヘラブナが目の前を通って行くのが見えます。

午後からの釣りで皆さん順調に33〜39cmを釣り、ご機嫌でしたが、私はポツリポツリと言った状況でした。

夕刻がせまり、先輩達は帰りたくを始めたのですが、私は家が近く、30分で帰宅出来るので、そのまま続行するにしました。

その頃よりアタリが頻繁にあり、皆さんが「ヌートリアに引かれないように！」の挨拶で分かれる頃には入れ食い状態になって来ました。21尺の竿を使用していた為に両手で取り込みしなくてはならなくなりました。

薄暗くなる1時間弱の間に18枚釣りました。体力の限界と満足感でしばし、ポオ〜としていました。

(それ以来ポオ〜としばしはなしです)

川育ちのヘラブナは重量感があり、皆立派な体型。36cmを5尾釣れば十分に満足出来る釣りになる。



皆精悍だ！



尾が長い37cm

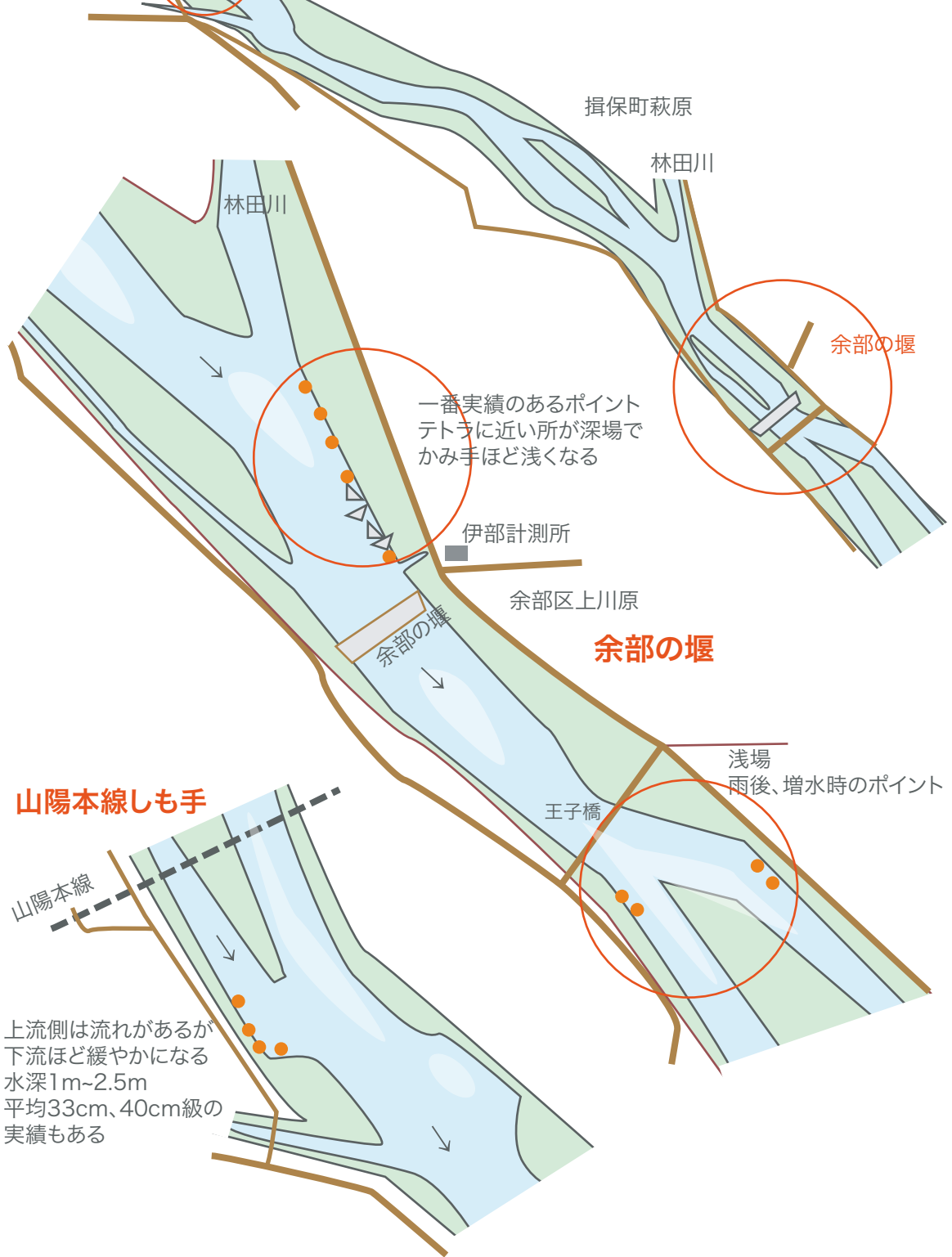


左岸の浅場藻際を狙う

至 岡山 山陽本線 至 神戸
山陽本線しも手
揖保町今市

揖保川の釣り場ポイント地図

揖保川は大水等による地形の変化が多く、
釣りポイントも変化するので、現地をよく
ポイントを確認して下さい。



山陽本線しも手

上流側は流れがあるが
下流ほど緩やかになる
水深1m~2.5m
平均33cm、40cm級の
実績もある

余部の堰

一番実績のあるポイント
テトラに近い所が深場で
かみ手ほど浅くなる

浅場
雨後、増水時のポイント